

東由利町報

No.300 昭和55年3月1日発行 昭和42年7月21日第3種郵便物認可 毎月1日発行

町の生活目標

- 1.町の心は明るいあいさつ
- 2.きれいな町で健康な暮らし
- 3.ミエ・ムダはぶいて生活の工夫
- 4.学び・働き・助けあう・ゆたかな心



No 300

3 / 1

《冬期交通路の途絶なく》

1年のうち約3分の1が雪に閉ざされる地域にとって、住民生活に大きな影響を及ぼす交通路の確保は、冬期間の最優先に取り組まなければならない問題である。

雪のない正月であけた新年だったが、冬将軍は忘れずにやって来、2月17日には役場前で165cmの積雪を記録した。

町では、積雪による交通途絶や混乱を防ぎ、雪から住民生活を守るため、オペレーター11名、除雪機械13台を配し、降雪日には午前3時から除雪にあたるほか、住宅密集地では深夜の排雪作業を行ない、交通路の確保に努めている。

安全就労で元気に帰省して

出稼ぎ者
及
安全就労
推進集会

在京郷土出身者も激励に

町の出稼ぎ援護対策の一つとして五年前から実施している「出稼ぎ者激励及び安全就労推進集会」が二月十七日、東京都千代田区の都道府県会館本館で行われました。

当日は、都内及び近県から百二十三名の出稼ぎ者が参加、町から出席した町長、産業経済課長及び担当職員、議会議長、同産業経済常任委員長、東田利農協長、同参事らと約四時間にわたって懇談、降雪状況や留守家族のこと、出稼ぎ就労状況などについて情報交換をしました。

集会では、まず町長が挨拶に立ち、町の積雪状況と除雪状況、それに、町で計画している道路改良事業や教育環境施設の整備充実、厳しい財政状況下での五十五年度予算編



今日はゆっくりくつろぎ、楽しい1日を……と挨拶する町長

つくりくつろぎ、同じ東田利人として親睦を深め、また明日から帰郷するその日まで元気に頑張ってほしい」と激励しました。

続いて、長沢町議会議長、小松農協長、佐藤秋田県出稼ぎ互助会東京連絡所長、出稼ぎ就労事業所を代表して本町から八名が就労している日本産業警備保障株式会社の梅田総務部長、それに、集会があることを聞いてかけつけてくれた本県二区選出の川俣衆議院議員らが、それぞれの立場から激励の挨拶をしました。

このあと、町出稼ぎ担当職員から、町の出稼ぎの現況や今春の雇用保険受給申請手続き方法などについて、県出稼ぎ互助会東京連絡所の米山相談員から、安全就労について、



家族や雪のこと、仕事のことなど話はずきない

それぞれ説明がありました。

午後からは懇談に入り、準備された折詰やお酒、ジュースなどを交しながら、お互いの近況や情報交換を行うとともに、町からの出席者には、増え続けるという故郷の雪の状況や留守家族のことなどについて尋ねていました。

また、会場には、一昨年、昨年に続いて本町向田出身の横山光二郎さんが、民謡歌手、尺八・三味線・太鼓の奏者らとともに激励に訪れ、これに出稼ぎ者が加わってプロ顔負けの「素人民謡名人大会」を思わせるほどの熱気あふれる即席ステージをつくり、大いに喜ばれました。

午後三時前、小松田忠之助さん（泡の淵）の音頭で、お互いの健康と春には元気で帰省することを誓い合って万歳を三唱し、盛会のうちに会幕を閉じました。

春には元気で帰省することを誓い合って万歳三唱



素人民謡名人大会、を思わずほどに次々と自慢の「のど」を披露



飼料費・労働費の節約を

高く売れる子牛を連産

かける期待と熱意は一層高まってきており、飼養技術も年々レベルアップされてきているといわれます。

町・農協・共済組合の三者で共催する「肉用牛飼育講演会」が二月二十三日、農学博士で現在東北農業試験場畜産部第一研究室長の吉田正三郎氏を迎え、町開発センターで開催されました。

当日は、日頃から牛の世話に熱心なお年寄りや母さんたちを中心に二百二十九名の集まり、「肉用牛の今後の方向と飼

い方」と題し、「…収益の増大を図るには、飼料費・労働費の節約に努め、高く売れる子牛を連産させることが大切」といった約二時間の講話に、真剣に耳を傾け、メモを取っていました。

本町における肉用牛飼養頭数は、昭和四十八年に九九〇頭だったのが五十五年には一九六二頭と約二倍に増え、しかも全体的に一、二頭飼いか

講演のあらまし①

肉用牛の主な生産地は、以前は中国地方以西だったが、最近では中国地方が減少し、九州、東北以北が中心となっている。また、九州地方は大体同じ指数で推移しており、これから肉牛飼育の中心地として伸びて

肉用牛の今後の方向と飼い方

東北農業試験場 畜産部第一研究室長 吉田正三郎

いくのは、東北以北と思われる。肉用牛の経営状態を、昭和五十三年度の生産費調査で全国、東北、秋田の平均値を比較してみると、秋田の方が高い費用をかけ、安く子牛を売

こうしたことから、収益の増大を図るには、濃厚飼料に頼らず、牧草、野草、水田利用再編対策の飼料作など、自給飼料の工夫、確保による適切な飼料給与を行ない、飼料



っていることが統計上からも見られる。この内容を見てみると、費用の中の飼料費と労働費が全国、東北に比べて高くなっており、逆に販売価格が低くな

費の節約に努めることであり、牛に接する時間を省くといった労力の省力化でなく、間に合う労働力の範囲内で増頭し、労働費の節約に結びつけることが大切である。

市町村では、飼養技術、粗飼料基盤の伴わない急速な多頭飼育によって失敗した例も多く見聞きしており、それぞれ自分の飼養能力、技術にあった頭数を徐々に増やし、健全な多頭飼育経営にしていってほしい。

町長日記

二月十七日、東京の都道府県会館で季節労働慰安の会を持った。都を中心とした四七事業所より一二三名の方々が参会した。東京の空は快晴だけに東由利は雪だナと話合う。勤務地の関係が昨年も参加された顔が多く見える。季節労働が始まった頃の出稼ぎコンプレックスは今全くない。業種に慣れ、土地に慣れ、職種と職場に誇りを持った意気込みが頼もしく感じられる。警備保障会社の部長さんが来られて都内一流ホテルのガードマンに数人勤務しておるといふ新しい仕事の分野の話、若い諸君の農業人としての社会観察、向田出身の横山光二郎君協力の在京民謡グループとのどの自慢の交歓、和気藹藹の中で散会。在京の東由利人で、小松昭光君(弁護士)外数名の諸君が参加して郷里を偲びながら声援してくれた……御協力に感謝します。

話が戻りますが、二月一日に東海道線二宮駅から数キロ入った神奈川県中井町に二四名の諸君が行ってあるので訪問する。雪が無い

ただで当地の様な山間地帯、県発注の河川改良工事が主。感心したことは、宿舎が良く整頓されており、それからも毎日の就労の真剣さが想像された。

就労の皆さん、春まで御苦労さん。

予算編成が終った。55年度予算は国の財政の影響によりかなり苦しいものになりました。

収入の一番大きいものは地方交付税の歳入でありますが、52年対53年比は約16%増、53年対54年比は約10%増であるのに、55年度は前年比5%程度の伸びしか見込まれない。公共事業の起債充当率が昨年一昨年の95%だったものが、75%にダウン。公債費の償還が増える等で切りつめた予算になった。

雪も終りになったか、春めいた空のぞかれ、土のぬくもりも感じられ出した。

福寿草
家族のごとくかたまれり
夢 汀

(以下次号へ)

300号を迎えた 東由利町報

昭和三十年七月二十三日旧下郷村と旧玉米村が合併して東由利村が誕生し、同年八月十五日に「東由利村報」第一号が発行されてから二十五五年の歳月を経、定期号は、本号で三百号を迎えました。

この間、昭和四十九年四月の町制施行により「東由利町報」と名を変え、町民の皆さんからの激励や率直な批判、意見等をいただきながら、町のできごと等をお知らせし、町民と町政を結びかけ橋として大切な役割を果たしてきました。

町報は、そのまま町勢の歩みであり、町の歴史をひもとく「生きた郷土史」とも言われます。

三百号を機会に、八名の方々から町報に対する意見や感想を寄稿していただくとともに、これまで歩んできた町の主な出来事を町(村)報の紙面上からひろってみました。

これからも、三百号の歴史を受け継ぎ、さらに充実した「東由利町報」にしていききたいと思っておりますので、ご指導、ご協力をお願いします。

東由利村報

7月11日(水) 13日(金) 15日(日) 17日(火) 19日(木) 21日(土) 23日(日) 25日(火) 27日(木) 29日(土) 31日(日)

6月22日 第一回畜産共進会
淋しかった出陣頭数の不足

農業共済組合
損害評価委員会

創刊号 2P (30. 8. 15)

東由利村報

7月11日(水) 13日(金) 15日(日) 17日(火) 19日(木) 21日(土) 23日(日) 25日(火) 27日(木) 29日(土) 31日(日)

東由利村報
自治功労者表彰式
役場便
新入出子実

創刊号 1P (30. 8. 15)

山利村報 (月二回発行)

No. 22 (32. 5. 30)

公民館結婚第1号
新生活の結婚行進曲 玉米分館で

早く見つけて急いで
水稲病害虫早期発見

東由利村報

No. 4 (30. 11. 15)

菊花かおる文化の日に
新村発足祝賀式を挙げる

早稲米出荷
早稲米出荷
早稲米出荷

東由利村報

No. 17 (31. 8. 15)

磯ノ花も出場して
賑わった地蔵堂奉納相撲大会

町報にのぞく

国内外の情報は、新聞やテレビ、その他で見たり聞いたりできますが、私達の一番身近で知りたいのは町内の実情であります。

出て歩く機会の少ない者にとつて、町内の情報を知るには、町報を見て知る以外はありません。従つて、毎月の町報発行を心待ちにしています。

定例議会の町政報告、一般質問、町民のひろば、社福だより、母と子の会話、町長日記、一滴、ある部落の誰かの子でしょうか孫でしょうか結婚・誕生おめでとう、ある人が故人になられた記事等々、これらのことは、町報よりほかに知る方法がありません。町内の現況がよくわかり、町報のありがたさをつくづく感じ、楽しく読んでいます。

八〇年代という言葉が人からも聞き、自分でも言うてきました。いよいよ八〇年代に入り、広報活動を一層輝かしいものとするという一つの固い信念を持って、町報発行を今後も続けてくださることを切望する次第であります。

朗報をもたらず役割を

田代 藤丸 テル

町政と東由利六千人のかけ橋になつてくれる町報が、昭和三十年八月十五日より発行を見、三〇〇号の誕生を迎えた事は、大変喜ばしいことです。

ある会場で、カメラを手に会の雰囲気を見計らうかのようにシャッターを押している姿を幾度か拝見致しまし

固い信念を持つて

智者鶴 佐藤 仁左工門

三〇〇号発行おめでとう。誠に意義深いものがあると思います。第一号発行の頃は、苦い経験もあつたらうと思われれます。

村報から町報に移り変わったように、人々の心理状態と物の考え方、現在に至つたその流れの中での三〇〇号発行。この長い歳月は、ひと口に言えば簡単なことのようにですが、これを今日まで継続することは、発行に携わつて参られた方々の苦勞と努力は大変だつたらうと思つてます。



紙面で見ると主な歩み

- No.1 (30.8.15) 初代村長選挙は8月20日に。議長に小松忠一郎氏選任。法内小学校全焼
- No.4 (30.11.15) 新村発足祝賀式(%)。第1回農産品評会(%)=出品点数535
- No.5 (30.12.25) 助役に小松忠亮氏、収入役に佐藤直蔵氏就任
- No.7 (31.2.25) 法内小新校舎で授業開始
- No.11 (31.5.5) 東由利村公民館発足
- No.14 (31.6.30) 第1回畜産共進会(%)=出陳頭数は馬8頭・牛20頭
- No.16 (31.7.30) 旧玉米村役場が本庁・旧下郷村役場が支所に
- No.17 (31.8.15) 議長に佐藤与吉郎氏選任。館合地蔵尊祭典奉納相撲大会に磯ノ花も出場
- No.20 (32.2.15) 大琴部落で婦人消防隊結成
- No.22 (32.5.30) 公民館結婚第1号=遠藤繁さん・東海林ヤス子さん
- No.23 (32.6.15) 大琴簡易水道完成
- No.24 (32.7.5) 役場建築敷地に老方跡跡決まる
- No.28 (33.10.15) 館合簡易水道完成
- No.29 (34.1.15) 新役場庁舎完成・事務開始
- No.30 (34.2.15) 新庁舎落成式(%)=265坪、工事費992万円
- No.36 (34.8.15) 村長に阿部直一郎氏当選
- No.42 (35.2.15) 家畜診療所開設=村農業共済組合が業務担当
- No.44 (35.5.20) 大琴診療所完成=25坪・工事費131万円。ジャージー牛導入最終年次で60頭=33.10から導入して総導入頭数215
- No.47 (35.9.30) 若林・東海林谷地開拓入植者の阿部久造さん、小松義治さん・佐々木佐市郎さん・菊地竹松さんの4世帯22人がブラブラジル移住で壮行会

昭和34年4月15日

葎沢で耕地整理

あと一息で完工

出羽郡葎沢から葎沢に在る村道(約二町九反)で整理区域の出入り右側方に、つぎつぎと、辺をのぞけば五ノアール(五ノ畝)と整理された葎沢田んぼ(約一ノ畝)の田がキチンとならん。工事には九分と残り出来上り。建設特別助成を受けて着工した葎沢耕地整理事業である。

面積は二・九〇(ヘクタール)補助金一〇〇(千円)内、内田七万円を受けたもの。

↑ No.32(34.4.15)

東由利村報 (月二四発行) 昭和34年4月15日



葎沢の落成式

葎沢の落成式は、四月十五日(日)午後二時、葎沢公民館で挙行された。出席者は、葎沢公民館長佐藤与吉郎氏、葎沢公民館副館長小松忠亮氏、葎沢公民館収入主任佐藤直蔵氏、葎沢公民館事務主任小松忠一郎氏、葎沢公民館庶務主任小松忠二氏、葎沢公民館庶務主任小松忠三氏、葎沢公民館庶務主任小松忠四氏、葎沢公民館庶務主任小松忠五氏、葎沢公民館庶務主任小松忠六氏、葎沢公民館庶務主任小松忠七氏、葎沢公民館庶務主任小松忠八氏、葎沢公民館庶務主任小松忠九氏、葎沢公民館庶務主任小松忠十氏、葎沢公民館庶務主任小松忠十一氏、葎沢公民館庶務主任小松忠十二氏、葎沢公民館庶務主任小松忠十三氏、葎沢公民館庶務主任小松忠十四氏、葎沢公民館庶務主任小松忠十五氏、葎沢公民館庶務主任小松忠十六氏、葎沢公民館庶務主任小松忠十七氏、葎沢公民館庶務主任小松忠十八氏、葎沢公民館庶務主任小松忠十九氏、葎沢公民館庶務主任小松忠二十氏、葎沢公民館庶務主任小松忠二十一氏、葎沢公民館庶務主任小松忠二十二氏、葎沢公民館庶務主任小松忠二十三氏、葎沢公民館庶務主任小松忠二十四氏、葎沢公民館庶務主任小松忠二十五氏、葎沢公民館庶務主任小松忠二十六氏、葎沢公民館庶務主任小松忠二十七氏、葎沢公民館庶務主任小松忠二十八氏、葎沢公民館庶務主任小松忠二十九氏、葎沢公民館庶務主任小松忠三十氏、葎沢公民館庶務主任小松忠三十一氏、葎沢公民館庶務主任小松忠三十二氏、葎沢公民館庶務主任小松忠三十三氏、葎沢公民館庶務主任小松忠三十四氏、葎沢公民館庶務主任小松忠三十五氏、葎沢公民館庶務主任小松忠三十六氏、葎沢公民館庶務主任小松忠三十七氏、葎沢公民館庶務主任小松忠三十八氏、葎沢公民館庶務主任小松忠三十九氏、葎沢公民館庶務主任小松忠四十氏、葎沢公民館庶務主任小松忠四十一氏、葎沢公民館庶務主任小松忠四十二氏、葎沢公民館庶務主任小松忠四十三氏、葎沢公民館庶務主任小松忠四十四氏、葎沢公民館庶務主任小松忠四十五氏、葎沢公民館庶務主任小松忠四十六氏、葎沢公民館庶務主任小松忠四十七氏、葎沢公民館庶務主任小松忠四十八氏、葎沢公民館庶務主任小松忠四十九氏、葎沢公民館庶務主任小松忠五十氏、葎沢公民館庶務主任小松忠五十一氏、葎沢公民館庶務主任小松忠五十二氏、葎沢公民館庶務主任小松忠五十三氏、葎沢公民館庶務主任小松忠五十四氏、葎沢公民館庶務主任小松忠五十五氏、葎沢公民館庶務主任小松忠五十六氏、葎沢公民館庶務主任小松忠五十七氏、葎沢公民館庶務主任小松忠五十八氏、葎沢公民館庶務主任小松忠五十九氏、葎沢公民館庶務主任小松忠六十氏、葎沢公民館庶務主任小松忠六十一氏、葎沢公民館庶務主任小松忠六十二氏、葎沢公民館庶務主任小松忠六十三氏、葎沢公民館庶務主任小松忠六十四氏、葎沢公民館庶務主任小松忠六十五氏、葎沢公民館庶務主任小松忠六十六氏、葎沢公民館庶務主任小松忠六十七氏、葎沢公民館庶務主任小松忠六十八氏、葎沢公民館庶務主任小松忠六十九氏、葎沢公民館庶務主任小松忠七十氏、葎沢公民館庶務主任小松忠七十一氏、葎沢公民館庶務主任小松忠七十二氏、葎沢公民館庶務主任小松忠七十三氏、葎沢公民館庶務主任小松忠七十四氏、葎沢公民館庶務主任小松忠七十五氏、葎沢公民館庶務主任小松忠七十六氏、葎沢公民館庶務主任小松忠七十七氏、葎沢公民館庶務主任小松忠七十八氏、葎沢公民館庶務主任小松忠七十九氏、葎沢公民館庶務主任小松忠八十氏、葎沢公民館庶務主任小松忠八十一氏、葎沢公民館庶務主任小松忠八十二氏、葎沢公民館庶務主任小松忠八十三氏、葎沢公民館庶務主任小松忠八十四氏、葎沢公民館庶務主任小松忠八十五氏、葎沢公民館庶務主任小松忠八十六氏、葎沢公民館庶務主任小松忠八十七氏、葎沢公民館庶務主任小松忠八十八氏、葎沢公民館庶務主任小松忠八十九氏、葎沢公民館庶務主任小松忠九十氏、葎沢公民館庶務主任小松忠九十一氏、葎沢公民館庶務主任小松忠九十二氏、葎沢公民館庶務主任小松忠九十三氏、葎沢公民館庶務主任小松忠九十四氏、葎沢公民館庶務主任小松忠九十五氏、葎沢公民館庶務主任小松忠九十六氏、葎沢公民館庶務主任小松忠九十七氏、葎沢公民館庶務主任小松忠九十八氏、葎沢公民館庶務主任小松忠九十九氏、葎沢公民館庶務主任小松忠百氏。

↑ No.30(34.2.15)

東由利村報

村長 村民の幸福のため努力
村長事務に真心をこめて

副議長に島山忠太郎氏
などの五選案決定

No.37 (34.9.15)

東由利村報

No.74 (38.6.1)

直まき機お目見得
村内6カ所に栽培試験地

直まき機お目見得
村内6カ所に栽培試験地

直まき機お目見得
村内6カ所に栽培試験地

東由利村報

No.122 (49.9.1)

小松村長就任
阿部村長の任期は8月10日満了したため、小松村長は9日就任。23日に事務引継ぎ

就任挨拶の要旨
(庁員に対して)

↑ No.82(39.3.1)

↑ No.122(49.9.1)

東由利村報

No.131 (43.6.1)

直まき機お目見得
村内6カ所に栽培試験地

直まき機お目見得
村内6カ所に栽培試験地

直まき機お目見得
村内6カ所に栽培試験地

町報にのぞく

住民の主張や提言も

八日町 佐藤 智治郎

昨年の暮れに商工会青年部が、「明日のわが町をつくるために」というテーマでアンケート調査を実施し、広報誌の設問では、一〇〇人のうち九六・七人が町報に目を通して欲しいもの、と答えてくれた。老若男女を問わず、自分達の町の様子、特に行政を知ってみたいからであると思われたい。

町民は、何んらかの形で町政に参画し、少しでも良い町にしたいという希望を持っています。

八〇年代は、地方の時代と言われている。生きがいのある地域社会は、自分達の手でつくっていかなくてはならない。

最近では上等の紙質で十ヶ前後と立派になり、随分成長して参りました。町政や福祉のこと、町長日記などを折り込んで紙面をにぎわしているようです。

過疎対策とか水田利用再編対策と難しい問題点もありますが、私がよく目を通すのは、難しい項目より、最後の慶用の記事です。

結婚おしあわせに”を見ていますと、数年前から随分遠くから縁組のあることが目につきます。一組でも多くと願いたいものです。

”お悔み”の欄を見ては、幼い子供は何の事故で亡くなったのか、中年なら成人病かなと、深刻に思います。

八〇年代は、オイルショックなどで暗い幕開けとなりました。町報は、町の生活目標に習い、明るい住みよい東由利を築く担い手となり朗報をもたらす役割となつて欲しいものです。

三〇〇号に達して、益々の御発展をお祈り致しております。



紙面で見える主な歩み

- No.48 (35. 10. 15) 農業振興特別指導村に指定
- No.56 (36. 7. 15) 長根谷地放牧場開場
- No.58 (36. 9. 20) 台風18号(夜)で被害総額およそ2,500万円
- No.65 (37. 5. 30) 住吉小学校で給食開始
- No.67 (37. 8. 1) 黒淵診療所診療開始
- No.70 (38. 1. 1) 酪農5ヶ年計画達成記念式(%)
- No.72 (38. 4. 1) 収入役に佐藤玉治氏就任
- No.74 (38. 6. 1) 玉米小で給食開始。村営火葬場完成。八塩ダム完成・放水開始
- No.77 (38. 9. 3) 基幹林道軽井沢線起工式=開始延長6,000m、総工費4,800万円
- No.83 (39. 4. 1) 老方・中央・下郷3農協が合併して東由利農協発足
- No.88 (39. 9. 15) 「殉国の碑」建立・除幕式。第1回リズム体育大会
- No.90 (39. 11. 20) 善徳・八塩開拓農家に電気導入
- No.91 (40. 1. 1) 東由利農協事務所落成
- No.95 (40. 5. 15) 単青を廃止して東由利村青年会発足
- No.96 (40. 6. 15) 基幹林道軽井沢線竣工式
- No.102 (40. 12. 10) 東由利村10周年記念式。玉米農協共同利用施設完成
- No.106 (41. 4. 25) ダム周辺に桜1千本、つづじ500本植栽
- No.109 (41. 8. 1) 全国地すべり技術検討会=沼・蛇喰地区で
- No.110 (41. 9. 1) 8月15日に成人式=以後成人式は夏になる
- No.122 (42. 9. 1) 村長に小松栄男氏当選
- No.129 (43. 4. 1) 助役に伊東利雄氏就任
- No.131 (43. 6. 1) 島部落で大火=13棟焼失 損害額1,476万円。林業構造改善事業計画地域に指定
- No.134 (43. 9. 1) 議長に長沢毅氏選任



↑ No.160 (45. 12. 1)



↑ No.154 (45. 6. 1)

⇒ No.163 (46. 2. 20)



⇒ No.166 (46. 5. 1)



実質統合を現場に見る



↑ No.167 (46. 6. 1)



⇒ No.206 (49. 3. 1)

町報にのそむ

ばならないと思います。そして、個人個人の意識の高揚を図ってゆかなければなりません。町報は、そのことに一つの大きな役割を果たす力を持っていると思います。明るく住みやすい東由利町を造ってゆく為、もう少し住民の主張や提言を載せるページがあっても良いと思います。

昭和三十年に第一号が生まれてから、今回で三〇〇号という大きな積み重ねをした町報。

我々は、先輩の経験を大いに生かして、住みやすい環境づくりに頑張ってゆかねばならないと思います。

町の問題点を紙面に

下通 長谷山 淳子



町報二〇〇号おめでとうございませう。想えば一九八〇年代の正月は、暖かな朝で始まりました。年賀状の一枚一枚に目を通しながら、その顔を思い起してはこの厳しい時代にお互いに生きている事を確認する事が出来ました。

我が町報においては、紙面の隅々まで我が町内の予算や生活の事柄等載せて頂いておる為に、いながらにして色々の事柄を知る事が出来、大変にありがたいと思うと同時に、心暖まる時間でありました。

当面の我が町の問題点は、人口流出の事で、これが続くとその集落は崩壊する訳です。特に若年労働者の流出を深刻に受け止めているのはこの事と思えますが、これらの防止対策として、定住圏構想の基となる地場産業の育成、振興が急務であると思えます。

この様に一つの例ですが、問題点を紙面に載せて頂き、各方面の意見や町当局の考え方も併せて知りたいと思えます。

また、町での研修会、講習会の際の内容で、住民が是非日常生活に取り入れるべき事をお知らせしていただく欄を紙面に載せていただければ、集会の意義が大きく住民に広がり、色々な効果を期待することが出来るのではないのでしょうか。また、予算が許されましたならば、カラーの二・三色刷り等も前向きに検討なさってはいかがでしょうか。

最後に、係の方々の御苦勞も大変多い事でありましょ

紙面で見える主な歩み

- No.202(48.12.1) 町制施行を議決
- No.203(49.1.1) 蔵小・法内小の統合議決
- No.204(49.2.1) 町制施行促進協議会が新町名を「東由利町」と答申して解散
- No.207(49.4.1) 町制施行
- No.209(49.4.10) 町発足式(%)蔵小・法内小統合。鳥海山噴火
- 号外(49.6.1) 町制施行記念式(%)
- No.211(49.6.1) 町制モニター制度発足
- No.212(49.7.1) 県営圃場整備事業起工式
- No.214(49.9.1) 東由利簡易水道完工式=総事業費1億4,252万円
- No.217(49.12.1) 大琴診療所完成
- 号外(50.1.15) 本荘高校下郷分校が全日制移行決まる
- No.219(50.2.1) 老人いこいの家「朋楽荘」オープン
- No.221(50.4.1) 収入役に小野丹左エ門氏就任。福祉バス(やまゆり号)購入
- No.223(50.6.1) 電話自動化なる
- No.225(50.8.1) 克雪管理センター完成
- No.226(50.9.1) %豪雨被害=雨量280ミリ、被害額7億5千万円
- No.227(50.10.1) 町社会福祉協議会が法人化
- No.228(50.11.1) 第二期山村振興計画策定
- No.229(50.12.1) 玉小新体育館完成。町公民館完成
- No.237(51.8.1) 住吉小にプール完成
- No.243(51.11.1) 山村開発センター工事着工。住吉小・東由利中で全国へき地教育研究大会
- No.244(51.11.15) 冷害=被害金額約5億4,000万円、収穫皆無田21ha
- No.256(52.5.15) 古文書解読集完成
- No.261(52.8.1) 宿小プールオープン
- No.265(52.10.1) 湯出野遺跡発掘調査。島根牛導入事業実施

克雪管理センター完成



↑ No.225(50.8.1)

← No.272(53.1.25)

自立経営と地域農業の確立を

第二次農機整備改修事業

南部地区は53年度の事業開始メドに

一次農機の整備が完了し、第二次農機整備改修事業が実施されている。南部地区は53年度の事業開始メドに、整備が完了する見込みである。

農機整備改修事業は、農機具の修理・改修、新機具の導入、農機具の保管庫の整備などを行う。南部地区は、53年度の事業開始メドに、整備が完了する見込みである。

農機整備改修事業は、農機具の修理・改修、新機具の導入、農機具の保管庫の整備などを行う。南部地区は、53年度の事業開始メドに、整備が完了する見込みである。

↓ No.265(52.10.1)



どこか懐かしい……湯出野遺跡にまたった(前野村から)島根牛。家畜改良課、土田課員。

なぜ島根牛の改良が必要か

島根牛は、肉質が柔らかく、飼料効率が良い。しかし、生産量が少なく、改良が必要である。島根牛の改良には、遺伝子検査や交配改良などが行われている。

島根牛の改良には、遺伝子検査や交配改良などが行われている。島根牛の改良には、遺伝子検査や交配改良などが行われている。

繁殖素牛の改良を目ざして

島根牛25頭を導入

↓ No.265(52.10.1)



湯出野遺跡にまたった(前野村から)島根牛。家畜改良課、土田課員。

県内で始めて墓構群を検出

湯出野遺跡 発掘調査で

湯出野遺跡の時代	
BC 3000年	BC 1000年
縄文時代	弥生時代
前期-中期-後期-晩期	前期-後期
土器の出現	稲作の導入

湯出野遺跡の発掘調査で、県内で初めての墓構群が検出された。これは、縄文時代から弥生時代にかけての遺跡である。

湯出野遺跡の発掘調査で、県内で初めての墓構群が検出された。これは、縄文時代から弥生時代にかけての遺跡である。



湯出野遺跡の発掘調査で、県内で初めての墓構群が検出された。

町報のそも

や若者等にもとつき易く、読み易く工夫されていて、単なる自治体の広報紙といった枠だけにはまっていないことです。

日頃、町政等に無関心な私達には、町報は唯一の教書なのですが、どうしても隅に追いやられがちです。これから、お知らせ等の統一や住民の生の声等も掲載され、紙面を通して住民の期待に答えてください。

尚、その都度発行される役場通信とも一緒に綴じられるよう紙面の大きさや綴り表紙の工夫、それにたまには、町報を話題に婦人、青年、児童等との交歓読書会もあっていいのではと思います。

表紙やニュースを飾る写真は、とても楽しく、読む私達の心を和ませてくれます。これからも良いシャッターチャンスを見逃さずに撮って、数年後、なつかしく拝見出来ます様頑張ってください。

町民と町政を結ぶパイプ役

大琴 梅津 千代松



昭和三十年七月二十三日、東由利村が誕生し、同年八月十五日には東由利村報第一号が発行された。今日まで二十五年の年輪を刻み、三〇〇号を出すという記録を作った。

この間、東由利村は町と変わり、町政も、もの見事に移り変わり、われわれの日常生活の変わり方も大きい。紆余曲折はあったが、今日程の町づくりが出来ることは、当時としては夢想だに出来なかつた事である。

顧みて二十五年前、村報第一号を見ると、東由利村の誕生を報じている。

当時、私も合併委員の末席にあり、新しい村名の選択に関係した。数々の村名の投稿の中から東由利という村名を見出した時、何かしらピンときた。これだ、と思った事を今でも忘れない。

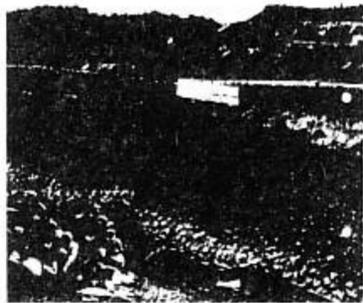
なぜ私の心をとらえたかはわからないが、ただ東という字に魅了され、また、由利という親しみが、それをそれなりに親しみを感ずる表した。中には、玉郷など旧村意識を自ら表している名称を取り上げた人もあったが、新しく生まれ出したその名は、旧村には全く関係のない新自治体の名で進もうと思ったからだった。

紙面で見える主な歩み

- No.266(52.10.15) 村報縮刷版完成
- No.267(52.11.1) 山村開発センター完成・オープン
- No.268(52.11.15) 農免農道根小屋線改良着工
- No.270(52.12.15) 宿地区で“ミニ総パ事業”に着手。黒淵診療所完成
- No.271(53.1.1) 役場第二庁舎完成
- No.272(53.1.25) 第二次農業構造改善事業計画策定
- No.275(53.3.1) 湯出野遺跡が県指定史跡に
- No.279(53.6.1) 法内地区で地域農政特對事業に着手。祝沢分校・老方小と統合
- No.281(53.8.1) 農免農道(根小屋線・軽井沢線)・大琴地区ミニ総パ事業の起工式
- No.282(53.9.1) 下中跡地に横渡コミュニティ広場完成
- No.283(53.10.1) ライスセンター・低温倉庫操業開始
- No.284(53.11.1) 小松音楽兄弟顕彰碑建立・除幕式
- No.285(53.12.1) 宿小新校舎完成＝鉄筋コンクリート二階建。高村・黒沢・奥ヶ沢に簡易水道完成。杉森林道完成＝延長1,721m
- No.286(54.1.1) 蔵・黒淵に集落センター完成＝呼称は大蔵館・八塩館
- No.290(54.5.1) 社会教育委員に5氏委嘱町過疎対策協議会設置
- No.291(54.6.1) 町教育研究所設置
- No.295(54.10.1) 沢中線・八塩線・ボツメキ線改良整備着手
- No.297(54.12.1) 沼・新沢に簡易水道完成町結婚相談所開設。須郷田でクマ射止める
- No.298(55.1.1) 宿小落成式＝総事業費3億1,588万円(校舎・屋体・給食施設)



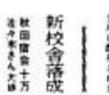
No. 281 (53. 8. 1)



No. 293 (54. 8. 1)

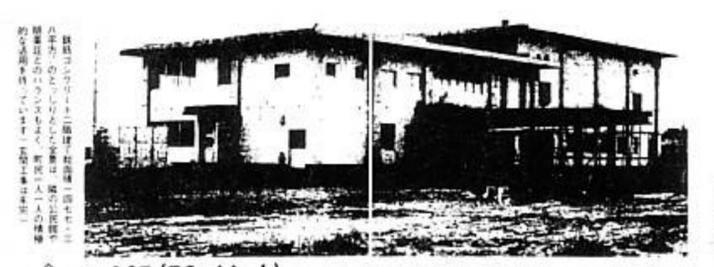
No. 293

No. 298 (55. 1. 1)



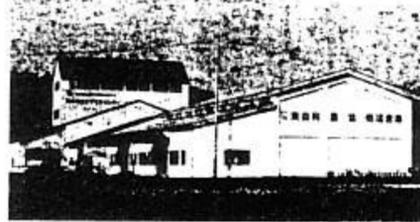
新校舎落成
総事業費三億
一億五千八百
八十八万円

開発センター豪華にオープン



No. 267 (52. 11. 1)

No. 283 (53. 10. 1)



利用形態による料金指標 (1077-1084)

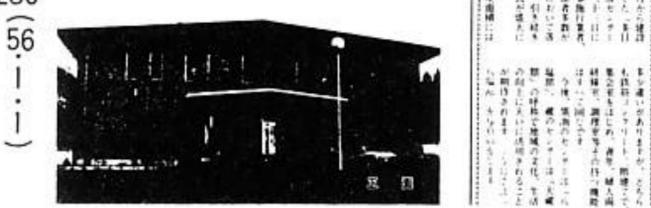
利用形態	利用料金	利用料金
1 コンパイン+運搬+ライスセンター (1000kg)	10,000円	23,000円
2 コンパイン+運搬+ライスセンター (500kg)	5,000円	11,500円
3 個人用車+運搬+ライスセンター (500kg)	5,000円	11,500円

ライスセンターが操業開始
町農業史に新たな一ページ

今年の利用はおよそ百トン

東由利町は、山間部であり、稲作が盛んな町である。稲作は、町民の生活の中心であり、町農業史の重要な一ページを刻んでいる。今年、町にライスセンターが操業を開始し、町農業史に新たな一ページを刻んだ。ライスセンターは、稲作の生産から消費までの一貫したシステムを提供し、町民の生活を便利にする。今年の利用はおよそ百トンと見込まれている。ライスセンターの操業開始は、町農業史の重要な一ページを刻んだ。ライスセンターは、町民の生活を便利にする。今年の利用はおよそ百トンと見込まれている。

黒淵・蔵 集落センター完成



No. 297 (54. 12. 1)

宿小 校舎・屋体 給食施設が完成

調理室は県内初の乾式工法採用

宿小の校舎・屋体・給食施設が完成した。調理室は県内初の乾式工法を採用している。校舎は鉄筋コンクリート二階建てで、屋体は鉄骨造りである。給食施設は、調理室・洗浄室・配膳室・食卓室からなる。校舎は、高村・黒沢・奥ヶ沢の三地区に簡易水道が完成した。杉森林道も完成し、延長1,721mとなった。

町報にのぞむ



だが、旧村意識はなかなか解けなかった。これは、単に東由利だけの問題でなく、各合併町村の通例だったのかも知れない。

また、旧村の役場の交替など今にして思えば笑い草となるが、当時の人口約一万の村民は、何事にもよく神経をとがらせた。長い間生まれ育ったその村独自の伝統を放棄して生まれ変わる事は、確かに辛い事であったろう。村報縮刷版を見ると、その時代時代の出来事が、実に感慨深く思い出される。

二十五年目にして三〇〇号を迎える町報。これからも、町勢の歩みを記し、町民と町政とを結ぶパイプ役としてさらに発展することを祈るものである。

町民の“文芸欄”等を
袖山 畠山 タツ子

三〇〇号おめでとうございます。一口に三〇〇号と言っても、これに携わっていらした方々の御苦労を心からお察し致します。

私ごときが寄稿するという事は、大変おこがましい事ではございますが、あれは昨年の葉たばこの収納の日でした。それは、一年の労働を評価される事にもなり変な緊張感が漂い、本当に嫌な場でもあります。

私は、自分の産物にあまり自信がなく、じつとしていられないほど心が動揺していました。が、その時配られた専売公社で出している新聞の文芸欄が、私にいつか安らぎを与えてくれました。それは、たばこ作りの厳しさを詠んだものでありましたが、一面のいかめしい内容だけの記事もさることながら、その欄には何とも言われぬ親しみを覚えました。

我が町の町報にも、町民が寄せる“文芸欄”、若しくは“町民の声”を載せるページが設けられたら身近なものになり、今までと違った親しみも感じられるのではないのでしょうか？

そしてそれは、激動する社会に疲れた心を癒してくれるような気がします。

それとも、私の一人よがりかしら……。

留守会
留守家族
留守会

事業所訪問の八ミリ映写に沸く

主婦ら家族三〇〇人が参加

今年の「出稼ぎ留守家族懇談会」は、二月十日に町開発センターで行われ、町内各地区から主婦を中心に三百人余りの家族が集まり、八ミリ映写や演芸会などで楽しい一日を過ごしました。

懇談会では、まず町長が、「…先頃、本町から出稼ぎに行っている二つの事業所を訪問してきたが、皆んな元気に働いており、その真面目な就

業に、各事業所でも信頼性を高くしていると見てきた。留守家族の皆さんも、雪が多くなつて大変でしょうが健康に注意して頑張ってください…」と挨拶。続いて長沢町議会議長、小松東由利農協長から挨拶がありました。

このあと、町の出稼ぎ担当係が、今年の出稼ぎの現況について説明するとともに、一月下旬に上京し、関東・東海

地区の各事業所を訪問して出稼ぎ者の就労状況等を収めてきた八ミリフィルムを約一時間わたって上映。

正月過ぎに家をあとにした夫や息子、近所の父さんなどの姿がスクリーンに大きく写し出され、「…こちらは皆元気に働いている。雪が多くなり大変だと聞くが、体には十分注意して春まで頑張ってください。留守中よろしく頼む…」



⇒夫や息子の元気な姿が写し出されるスクリーンを見つめる視線は熱い



⇒ステージでは「カラオケ大会」も催された

などと、留守家族へのミニメッセージを送ると、広い集會室いっぱい集った人たちは、一層身をのり出し、その元気な姿と声を確認し喜び合っていました。

午後からは、準備された折詰やお酒、ジュースなどをいただき、お互い留守家族同志、遠くで働く夫や息子に思いを寄せながら親交を深めていました。

また、ステージでは、町民謡同好会と町踊りの会の慰問演芸が行われたほか、たくさんの賞品を準備して「カラオケ大会」も催され、自慢のものを披露しようとする人が後を断たず出て大演芸会となり、積雪も多くなり雪降りや家の周りの排雪などに忙しい中であつて、「ちよつと骨休みの楽しいひとときを過ごしていました。

登録者数は 3,656人

縦覧期間中に確認を

今年、農業委員選挙の年に当り、来る四月に選挙執行が予定されている中にあつて、毎年一月一日現在で調製する町農業委員選挙人名簿の登録者数が、二月十二日の選挙管理委員会で確認、決定されました。

これによる

と、今年の登録者総数は三千六百五十六人で、昨年比で五十九人の増となつています。

各投票区別の登録者数は別表のとおりですが、この登録は次のような資格要件によつ

農業委員選挙人名簿登録者数

(55. 1. 1現在)

	男	女	計
合計	1,800	1,856	3,656
第1 (館合)	378	415	793
第2 (田代)	300	301	601
第3 (袖山)	81	83	164
第4 (蔵)	220	238	458
第5 (老方)	327	325	652
第6 (法内)	168	156	324
第7 (宿)	326	338	664

- ① 一月一日現在、本町に住所を有する者。
- ② 昭和五十五年三月三十一日現在で満二十歳以上である者。
- ③ 十ア以上の農地につき、耕作の業務を営む者。
- ④ 前項の者と同居の親族、または配偶者。但し、耕作に従事する日数が、年間お

また、ステージでは、町民謡同好会と町踊りの会の慰問演芸が行われたほか、たくさんの賞品を準備して「カラオケ大会」も催され、自慢のものを披露しようとする人が後を断たず出て大演芸会となり、積雪も多くなり雪降りや家の周りの排雪などに忙しい中であつて、「ちよつと骨休みの楽しいひとときを過ごしていました。

また、選挙人名簿は三月三十一日に確定することになり、町選挙管理委員会で、次のように縦覧期間を定めていますので、登録もれがないか、記載事項に誤りがないかなど、この期間中に確認しておきましょう。

●縦覧期間 二月二十三日～三月九日(毎日午前八時三十分から午後五時まで)

●縦覧場所 東由利町役場

おむね六十日に達しないと農業委員会が認められた者は除く。

南の島々を訪ねて

秋田の子らを常夏の南の島々へ——今冬、AKT秋田テレビが開局十周年を記念して実施した「第一回・AKT少年の船」洋上セミナーに、本町の畠山鋼君(蔵小六年)、佐藤幸子さん(東中一年)も参加、県内の小・中学生七百八十二名の仲間とともにグアム・サイパン島を訪れました。

一月七日から二十日まで十四日間の短い期間でしたが、南の島の子供たちとの交歓や船での団体生活は生涯忘れられない思い出を作ったに違いありません。そこで、お二人に感想文を書いてもらいましたので紹介します。



蔵小6年 畠山 鋼 (蔵)

ぼくは、この冬休み中にグアム・サイパンに行ってきた。

東京の晴海での結団式を迎えたぼくは、これから外国の旅が始まるのだと思うと、何か不安な気持ちになり、船の上で生活していけるのだろうかかと心配でした。

しかし、結団式を終えていよいよ船に乗ることになったときは、そうした心配をよそに初めて乗る船に気持ちがわくわくしてきました。

一步一步階段をふみ船内に入ると、そこはものすごく広く、生活していくうえで色々な役立つ物がそろっているの

見渡す限りの海、海、海……二、三日たってもかんぱんから見えるのは水平線だけで、島が見えるのは一日一回ぐらいいでした。

船に乗って四日目の朝にグアム島に着きました。その日の午前中は皆んなで海水浴をしました。

その海は、日本の海と違って水中が全部見えるほどきれいで、とても気持ちのよくなるような海でした。午後には島内観光。砂漠と熱帯植物が多く見られ、ぼくたち山村から行った者には珍しい物ばかりでした。

次に行ったサイパン島は、グアム島より少し小さな島でした。

ハイキングで、第二次世界大戦の頃日本人がよく使っていたという古い病院に行きましたが、その建物には鉄砲のあとがたくさん残っていて、



東中1年 佐藤 幸子 (蔵)

戦争のみじめさがわかるくらいぼろぼろになっていました。帰りの船は、風が強くてひどく揺れ続け、船酔いして吐いている人もいましたが、幸いぼくはあまり酔いませませんでした。

全県から集まった小学校五年生から中学校二年生までの男女約八百名の団体生活、日本の国から何千キロと離れた海の旅は、ぼくにとっていつまでも忘れられない思い出となりました。

幼ない頃からのあこがれだった船に乗れるということで、「少年の船」に参加しました。吹雪の一月七日夜、本荘を発ち、八日午後一時頃、晴海港を出航しました。

五日目、待ちに待ったグアム上陸です。現地の知事さん、ガールスカウトの歓迎を受け、貝がらのレイをかけてもらいました。

上陸して、さっそく観光に行きました。バスに乗って海が見えるとみんな歓声をあげてしまいました。ガイドさんは、「秋田には海がないの」と言いました。そうではないけれど、あまりにも海がきれいなので驚いてしまったのです。観光がすむと次は海水浴です。さんご礁なので、足が

痛くて大変でした。それでもさんごのかけらを取ったりして、とても楽しいものでした。上陸して二日目、交歓会が行われました。そこでは、グアムの遊びや歌、日本の遊びや歌など、お互いに教えあつて一緒に歌ったり踊ったりしました。キャンプファイヤーでは、グアムに住んでいる松本さんという十歳ぐらいの女の子と友達になることができました。手紙を交換して、いろいろなことを教えてもらいたいと思っています。

三日間のグアムに別れを告げ、一月十五日サイパンへ上陸しました。とてもおんげりとしたところでした。

太平洋戦争では、何万という日本軍が玉砕したと言います。その霊をなぐさめる平和の塔にみんな花をささげ、お参りをしました。のんびりとした静かなところで、本当に何万という人がお国のために死んでいったのだろうか。私には信じられないことでした。

サイパンでの日程も終わり、帰りの船に乗りました。帰りの船では、盲腸の友達を救出する作業や、高波のため船が進まなかったりしました。そんな一つ一つが忘れられません。

この旅では、言葉が違っても、心が通じていることに大きな喜びを感じました。

お詫びして訂正します。

準備を早めに 準備を忘れず

三月から四月にかけては、就職や進学などで住所を異動する方が多くなります。役場の窓口もこの時期になると、毎年混みますので、住所を異動する方は早めに準備をしましょう。

他市町村に住所を異動する場合は、(転出)は、異動する前に役場に届け出て「転出証明書」を交付してもらい、転出先(就職先や進学先)の市役所または町村役場(東京都などは区役所)へ、転出した日から十四日以内に転出

証明書を持参して住民登録してください。

転出証明書を交付してもらったときは、転出先の住所をできるだけ詳しく(番地や方書きまで)、明確に届け出てください。

就職や進学に必要な戸籍謄本あるいは抄本は、就職する会社や進学する学校によつてそれぞれ違いますので、案内書などをもう一度確かめてから請求してください。

また、転出・転入の届け出をする時には、申請者の印鑑が必要で、国民健康保険や国民年金の加入者は、それぞれの保険証、年金証書も忘れずに持参してください。

自力で進学を

毎日育英会

毎日新聞社では、働きたがら首都圏の大学、各種学校、予備校へ進学を志す学生のために、「奨学制度」を設けております。学費、生活費等一切心配ありません。特に、私立文科系大学志望者の為の予備校「毎日セミナー」を設置、勉強に打ち込める環境です。

資料希望の方は、左記へお問合わせください。

〒一六〇 東京都新宿区大

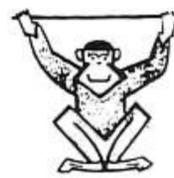
久保三ノ一四ノ四 毎日新聞社 早稲田別館内毎日育英会K係

お詫びと訂正

二月一日発行二九九号六ページの「宿小大台分校に……」の記事中、「猪股冬樹君に……」七ページの「電話異動のお知らせ」の記事中、「佐藤秋男2495」となっています。が、「猪股秀樹君に……」、「佐藤秋男2459」の誤りでした。

お詫びして訂正します。

町民のひろば



町の概要

人口総数	6,395	人
うち男	3,138	人
うち女	3,257	人
世帯数	1,459	戸
面積	148.51	km ²
	(55. 2. 1)	

町開発センターに扁額

秋田宿会 故郷に恩返しを



建国記念の日の二月十一日に秋田市の秋田宿会から、「日々是好日 為東由利町開発センター 秋田県知事小畑勇二郎」と書かれた扁額一枚が寄贈されました。

交通安全ベスト二〇〇着

ジャンプ(株)が寄贈



交通安全ベストで事故防止

このほど、埼玉に本社を置き、本町向田の工場を含めて秋田県内に十三工場を設置するジャンプ株式会社(新井栄二郎社長)から、交通安全ベスト二〇〇着が寄贈されました。これは、同社軽井沢本工場(羽後町)設立十周年を記念し、日頃お世話になって

いる町村へのお礼に、このベスト、黄色の地にアメリカ製のリフレクサイトテープ(プリズム加工の反射テープ)を使用し、一八〇度手前より反射安全確認できます(高速道路におけるテスト結果)。町では、思わぬ贈り物に喜ぶとともに、みどり、永慶の両保育園児に利用してもらい、交通事故防止に役立てたいとしています。

善意

老方小にお手玉150個 大琴の佐々木ミネさんは、先ごろ老方小学校にお手玉百五十個を贈り、喜ばれています。

住吉小に雑巾51枚 葎沢の小松ヒサエさんは、このほど住吉小学校に雑巾五十一枚を贈り、喜ばれています。

蔵小にお手玉60個 島の畑山マサエさんはこのほど蔵小学校にお手玉六十個を贈り、喜ばれています。

これは、去る昭和五十二年九月二十三日に同会がふるさと訪問で本町を訪れた際、自分たちを温かく育ててくれたと贈ってくれたものです。このベスト、黄色の地にアメリカ製のリフレクサイトテープ(プリズム加工の反射テープ)を使用し、一八〇度手前より反射安全確認できます(高速道路におけるテスト結果)。



しつけは「躾」と書きますが江戸時代に日本人がつくった「漢字」です。おそらく「身のこなし方」や動作が美しくなるように「しつけ」という親の願いがこめられているのでしょうか。

しつけ

しつけのねらいは、身の回りのことや対人関係の作法など、日常生活に必要な行動の型を身につけさせることにあります。このためしつけは、エチケットや生活技法などの形式的な面と、子供自身の欲求や感情にかかわる内面的な動機付けの両面を持っています。形式的な面は、基本的な生活のしかたの問題ですから、

心の交流を背景に

す。子供が、しつけになじめるような環境づくりをしてあげることが必要でしょう。一方、内面的な動機付けの面では、子供に、自ら進んで「してみたい」という気持ちを起こさせることが大事です。しつけに対する自分の興味、

ら、その意味では、いや応なしにある型にはめこまなければなりません。しつけは一面で「押しつけ」であるといわれるのもそのためでしょう。ただその場合でも、「歯をみがきなさい」と一方的に言うより、親も一緒に歯をみがいてやるなどの配慮が必要で

関心もさることながら、母親の心情を読んで、自らも母親と同じことをしようとすることが多いようです。その意味では、しつけの内面的動機付けにとって大切なのは、子供の母親に対する信頼、敬愛の情であるといえるでしょう。親から子への「一方通行」は、決してよいしつけとはいえません。しつけを通して、親子の人間的な触れ合いがあり、それによって子供が生きがいを感じていく——親子の心の交流を伴ったしつけを実践したいものですね。

故郷に恩返しの意味を込め、県知事書による扁額を町に贈呈したいとしていたものです。また、同会では、このほかに大琴、宿、舟木、袖山の各自治会にもそれぞれ、「一郷如一家 秋田県知事小畑勇二郎」と書かれた扁額を贈り、喜ばれました。

社福だより

香典返しとして、故小松徳治氏のご遺族(須郷田、小松哲夫さん)より三万円、故小野久輝氏のご遺族(須郷田、小野久亮さん)より五万円が



1月21日~2月20日

届けられました。故人のご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。



誕生

おめでとう

阿部功子 岩館 悟 三女

火の悪魔

心のすきをねらってる

〇お悔み申し上げます
遠藤 幸一 小倉 52歳

- 高橋正枝 横渡 武義 長女
- 畑山利享 下吹 清雄 三男
- 横山忠治 泡の湖 悦郎 二男
- 小松伸也 宮の前 操一 長男
- 小野真由美 上重 啓郎 二女
- 小松聖嗣 須郷田 聖明 長男
- 佐藤孝子 祝沢 晃 長女